



熱戦を繰り広げる早稲田大と慶応大の選手。多くの観客がスタンドで見守った。4日午後2時6分、岐阜市長良福光、長良川競技場

早慶戦、長良川沸く

県ラグビー祭に3000人

バロープレゼンツ2023県ラグビー祭（岐阜新聞社、岐阜放送など後援）が4日、岐阜市長良福光の長良川競技場で開かれ、早稲田大と慶応大が対戦した。1922年から数々の熱戦を繰り広げてきた伝統の「早慶戦」を観戦したスタンドのファンからは大きな歓声が上がった。

全国大学選手権最多の16回の優勝を誇る早稲田大と、日本最古のラグビー部で同選手権優勝3回の慶応大との一戦。ラグビーの早慶戦が県内で行われたのは初めてという。この日は3千人超が観戦した。

試合は26―17で早稲田大が勝利。スタンドからは、華麗にディフェンスを突破すると歓声が湧き起こり、パスがつかないため息が漏れるなど、観客も伝統の一戦を楽しんだ。

（杉原康仁）